

きしてから^{しゅうかく}収穫までは3年かかりますが、一度作付けすれば10年から15年間ぐらい^{しゅうかく}収穫できる多年生の作物です。

出荷^かは4月下旬から7月中旬まで行われます。滝根町ではグリーンアスパラガス、さやいんげんと同じく町の特産物^{とくさん}にしていきたいと、現在栽培の普及に力を入れています。

(4) 畜産物^{ちく}

滝根町の1985年(昭和60年)の畜産物生産額は10億4千2百万円で農産物全体の47.7%をしめており、重要な産物となっています。

乳牛



これは滝根町が阿武隈山系にあり、けいしゃ地^{さいそ}を利用して採草地をつくり、牛をかう農家がおおいたためです。

乳牛から生産される牛乳の多くは、酪農業協同組合をとおして郡山や東京方面の牛乳工場へ出荷されます。

肉牛は、和牛や乳牛のおすに、たくさんえき^{わぎゅう}を与えて肉をつけ、農業協同組合を通して食肉流通センター^{しよくにくりゆうつう}に出荷されます。

最近、めん羊もかわれるようになり、現在町内に160頭ぐらいかわれています。これは、羊毛をとるためではなく、肉用としてかわれています。